

GARMIN®

アメリカ発データ活用のプロフェッショナル

- 商品の文字表示は、実際の商品とは異なる場合があります。
- 掲載の着用画像はイメージであり、実際の商品とは異なる場合があります。
- この印刷物の無断転載を禁じます。(インターネット告知等)

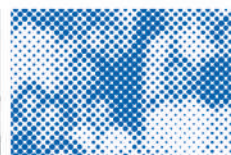
GARMIN.

35 YEARS OF INNOVATION

Garminの35年にわたる革新の歴史

Garminの 35年にわたる 革新の歴史

Garmin 創立35周年——
積み上げてきた歴史と、
革新の数々がここにある。
未来を拓くために
歩みを止めることなく進んできた軌跡。
Garminは、イノベーションに挑み続ける。



1989



Garminは、ゲイリー・バレルと ミン・H・カオによって設立



GPS技術がまだ初期段階にあった頃、ゲイリー・バレルとミン・H・カオは、位置情報を正確に特定し、目的地へと導く製品への可能性を描き、そのビジョンを現実のものとするべく、1989年に会社を設立。カンザス州の小さなオフィスに拠点を構え、12人のエンジニアと共に初のGPS機器のプロトタイプを開発。当初「ProNav」と名付けられたこの会社は、後に創業者2人の名前を組み合わせ「Garmin」(Gary + Min)に改名され、革新の歴史が幕を開けました。

1991



Garmin初の製品を 市場に投入

Garminは初の多用途向け製品「GPS 100」を発表しました。価格は2,500ドルで、発表と同時に5,000台の注文を受けるほどの反響を呼びました。その最大の特徴は、優れたバッテリー寿命とコストパフォーマンスであり、これにより市場に革命的な変化をもたらしました。



1993

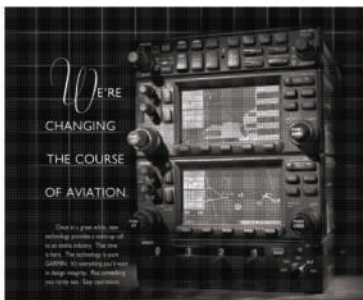
世界初の 航空機用携帯型GPS機器 「GPS 95」を発表

「ナビゲーション」というものが、まだ広く認知されていなかった時代、「GPS 95」は飛行コースを継続的に更新し、最大8つの衛星をトラッキングする機能をすでに搭載。業界をリードする視覚的インターフェースと直感的な操作性を備え、最大500通りのコースと往復経路を保存することができました。飛行距離や時間、推定燃料消費量、出発地と目的地の日の出・日の入り時刻、事前着陸密度高度推定、リアルタイムの飛行速度といった重要な情報を表示。その機能と使いやすさは、パイロットたちの間で広く評価され、強い支持を集めました。



革命的な統合航空電子機器 製品を発表

ナビゲーション、地図、通信機能を一体化し、史上初のカラーディスプレイを搭載した革新的な「GNS 430」を発表。この製品は、航空業界に革命をもたらし、「GNS」シリーズの中でも最も成功を取った製品のひとつとなりました。125,000台以上が販売され、その多くは現在も使用されています。「GNS 430」の登場により、一般航空の世界におけるナビゲーション技術は大きな飛躍を遂げ、航空機の操作における利便性と精度が劇的に向上しました。



世界初のGPS内蔵携帯電話 「NavTalk」を発表

「NavTalk」は、GPS受信機能だけにとどまらず、優れた性能を誇る携帯電話として登場しました。高解像度でバックライト付きのディスプレイを備え、発信者の位置を正確に表示。さらに、そのGPS受信技術には、世界的に評価される「GPS III Plus」で採用された、特許取得済みの12並列チャネル受信機が搭載されていました。加えて、米国、カナダ、南米全域の数百万キロに及ぶ道路網や高速道路を網羅した膨大なデータベースが内蔵され、ユーザーにとっての頼もしいナビゲーションツールとなりました。まさに「NavTalk」は、アウトドアサイバルの究極のパートナーであり、どんな過酷な環境にも対応可能な最強のギアです。

1998



音声通知機能を搭載した 世界初の携帯型ナビゲーション 「StreetPilot III」を発表

すべてのナビゲーション機器の使命は、ドライバーに適切なタイミングで必要な情報を提供し、運転に集中できる環境を作り出すことでした。「StreetPilot III」に搭載されたシンプルで直感的なインターフェースは、ドライバーにその安心感をもたらします。方角や到着予定時刻とともに、最短ルートや最速ルートを提供し、次の曲がり角や分かれ道を音声で自動的に知らせることで、ドライバーを目的地へ安全に導きます。

2001



世界初の手首で測定する ランニングGPSウォッチ 「Forerunner 201」を発表

世界初のGPS搭載ランニングウォッチ「Forerunner 201」の登場で、ランニングとフィットネス市場に新たな風を吹き込みました。この革新的な製品は、ある若きエンジニアが登山向けGPSナビゲーターの開発を進める中で、その距離と速度のデータがランナーにとって欠かせない「ペース」データに変換できることに気づいたことから生まれました。これにより、ランナーはリアルタイムで自分の走行データを手軽に確認できるようになり、効果的なトレーニングが可能となりました。

2003



世界初のGPS搭載 サイクリングコンピューターを発表

世界初のGPS対応サイクリングコンピューター「Edge 205」と「Edge 305」を発表し、サイクリング市場に本格参入しました。2008年には、スリップストリーム・スポーツが結成した米国拠点のサイクリングチームの冠スポンサーとなり、サイクリング界への影響力を確立。現在では20以上のプロサイクリングチームや、数々の表彰台を目指すオフロードサイクリストをサポートしています。

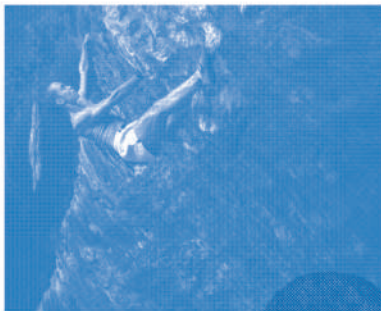


2009

世界初のGPSゴルフデバイスを発表

世界初のGPSゴルフデバイス「Approach G5」の発表をもってゴルフ市場に本格参入しました。この革新的な一歩を踏み出して以来、Garminのゴルフシリーズは着実に進化を遂げ、ウォッチ、レーザ距離計、弾道測定器、クラブトラッキングセンサーなど、多岐にわたる製品群へと拡大しています。Garminのゴルフデバイスは、精度と使いやすさを兼ね備え、ゴルファーのパフォーマンス向上をサポートしています。





2012

Garmin初のアウトドア向けGPSウォッチを発表

Garminにおいて初めてのGPS搭載アウトドア向けウォッチ「fenix」を発売し、スマートなナビゲーション機能と堅牢な設計をアウトドア愛好家の手首に提供しました。この革新的なウォッチは、従来のアウトドア機器に求められる耐久性と機能性を兼ね備え、さらにGPSナビゲーションを駆使した精度の高いサポートを実現。この革新的な製品は、Garminのウェアラブルウォッチシリーズに数々のイノベーションをもたらし、その後「fenix」シリーズは長年にわたり進化を遂げ、アウトドア愛好家の必需品として確固たる地位を築いています。



2014



Garmin初のフィットネスバンドで健康管理ウェアラブル市場に参入

バッテリー寿命が1年以上続くフィットネスバンド「vivofit」を発売し、フィットネストラッカー市場に革新をもたらしました。「vivofit」の登場は、長時間のバッテリー持続と、日常的なフィットネスデータの追跡を可能にし、ユーザーの生活に密着したトラッキング体験を提供。その後、「vivo」シリーズは10年にわたり進化を続け、vivoactive、Venu、vivomove、Lilyなど、ハイブリッド型やファッション性を兼ね備えたスマートウォッチを次々とラインアップに加え、フィットネスやライフスタイルのニーズに応じた選択肢を広げました。これにより、Garminはフィットネスとテクノロジーを融合させたウェアラブル市場で強力な存在となり、ユーザーの健康管理をサポートしています。



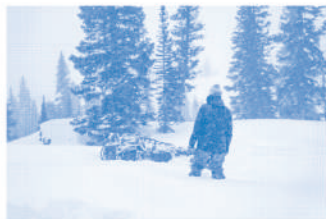
2015

光学式心拍センサーを発表

Garmin設計による初の光学式心拍センサーを発表し、これを「Forerunner 235」をはじめとするウォッチに搭載しました。この技術は、ユーザーが心拍数をリアルタイムで正確にモニタリングできる重要な機能であり、健康管理やトレーニングの効果を最大化するために欠かせないものです。現在では第5世代へと進化を遂げ数百万台のGarminウォッチに搭載され、世界中で多くの人々の健康維持に役立っています。

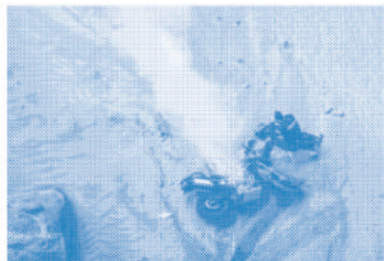


2016



個人用衛星通信機のパイオニア、 デローム®社を買収

デローム®社を買収により、Garminはアウトドア市場をさらに拡大し、双方向衛星メッセージングやSOS機能など、非常に重要な機能を提供する「InReach」搭載デバイスを展開。これにより、アウトドア愛好者や冒険家は、過酷な環境下でも安心して活動できるようになりました。現在までに、Garmin応答センターは14,000件以上のSOSに対応し、ユーザーの安全を守り続けています。



2017



世界初のGPS搭載 ダイブコンピューターを発表

GPSを搭載した世界初のウォッチ型ダイブコンピューター「Descent Mk1」を発売し、ダイビング市場に進出しました。この革新的な製品は、ダイバーにとって必要不可欠な水中ナビゲーション機能を提供し、ダイビングの安全性と楽しさを向上させました。現在、Garminのダイビングエコシステムはさらに進化し、SubWaveソナーベースの通信やダイバーモニタリング機能を含む高度な技術が組み込まれています。これにより、ダイバーはより精密なデータをリアルタイムで把握でき、より安全で効率的なダイビングが可能となりました。



世界初のソーラー充電 ウェアラブルウォッチ誕生

独自のソーラー充電技術を搭載し、世界初のソーラー充電機能搭載ウェアラブルウォッチを誕生させました。この革新的な技術は30を超える特許を取得し、スマートムーブメントのサポートを可能にします。Power Glassのソーラー充電レンズや、業界初のUPS設計により、電池寿命は従来からの5倍を実現。「fenix 6」「Instinct」「tactix Delta」の3シリーズを通じて、ソーラー充電機能搭載GPSウォッチの新たなスタンダードを打ち立てました。



2020

「Autoland」の発表で 新たな歴史を築く

「Autoland」は、10年の歳月をかけて開発された革命的な技術で、緊急時に飛行機を自動着陸させることを可能にしました。この画期的なシステムは、飛行機の安全性を大きく向上させました。2020年には、ライト兄弟やニール・アームストロングを含む航空界の偉人たちと肩を並べる形で、ロバート・J・コリアー・トロフィーを受賞しました。

2023

FDA承認の 心電図アプリを導入

Garmin HealthのイノベーションであるFDA承認の心電図 (ECG) アプリにより、ユーザーは心拍を記録し、心房細動の兆候を確認することが可能となりました。この先進的なテクノロジーは、GPSスマートウォッチ「Venu 2 Plus」に初めて搭載され、その後、新しいGarminウォッチに次々と展開されています。



※2024年11月現在、この機能はアメリカ国内のみで利用可能です。

数字で見る Garmin

創立以来の累計販売台数

約 **300,000,000**



連結売上高

約 **15.9** 億万ドル / 前年同期比：24%増



従業員

約 **21,000** 人



事業展開国

35 カ国



オフィス

87 ケ所



35年の歩みを祝福し さらに新たな道へ

1993

1999

2003

2009

2013

2017

2018

2020

2022

私たちは、過去35年間の歩みを誇りに思っています。
そして、今の私たちの成果は、まだ始まりに過ぎません。
これからも、これまでの実績を基盤に、さらに革新を追求し、
お客様に最高の製品とサービスをお届けします。
私たちは、これからも、より強く、より素晴らしい企業を目指していきます。

Garmin International, Inc. 代表取締役兼CEO クリフ・ベンプル